



未来型田舎の創生

活動区分	農地維持	○
	資源向上共同	○
	長寿命化	○
面積積定	26.8ha	



宮置地区は姫路市の中山間地域で、平成19年より活動を開始し、共同活動を通じて、地域住民の理解を深める活動を行っています。

現在は担い手農家を中心に農地集約を行い、ほ場整備による大区画化の工事を進めており、ICT（情報通信技術）を利用したスマート農業への移行を目指しています。



基礎活動



農道の草刈り



鳥獣害防護柵の設置・点検



組織運営に関する研修

将来を見据えた取組



小学生向けの田んぼの学校（米作り）



ドローンの活用



大型農機具の自動走行システム



ムカデ芝の定植

将来の夢・展望

先進機器の実証をすることで農業の効率化を図るとともに、高齢化や少子化に備え、非農家や地域外の住民に対し、活動への参画を積極的に推進しています。また、住民の連携や活動への理解を深め、地域の話し合いを重ねることで、スマート農業を取り入れた未来に向けた取り組みを行っています。